

公 表 日

令和 2年 4月 14日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和2・3年度 白川緑川水系危機管理検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 熊本河川国道事務所長 鈴木 学 熊本市東区西原1丁目12番1号
契約年月日	令和 2年 4月 14日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	29,029,000円(税込み)
予定価格	29,040,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業務場所	白川緑川水系
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 2年 4月 15日
履行期間(至)	令和 3年 12月 15日
備考	入札情報サービス(PPI) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 令和2・3年度 白川緑川水系危機管理検討業務
2. 履行場所 白川緑川水系
3. 契約の相手方 住 所：福岡市中央区大名 2-4-12
会社名：株式会社 建設技術研究所 九州支社
電 話：（092）711-2211
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号
5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、白川緑川水系において水防災意識社会再構築に向けた危機管理検討（広域避難の検討、水防災学習プログラムの更新、情報共有システムの検討、緊急排水計画の更新、緊急防災道路の検討）、水防法第15条の9及び10項に基づき組織する大規模減災協議会（水防災意識社会再構築協議会）の企画検討及び運営補助を行うとともに、水防上注意を要する重要水防箇所の検討や洪水予測システム・高潮予測システムの検証・精度向上に向けた検討、地震後のモニタリング調査結果の分析を行うなど、洪水における防災危機管理に資することを目的とした業務である。

2) 業務の内容

- ・白川・緑川危機管理検討
- ・水防災意識社会再構築協議会の企画検討及び運営補助
- ・白川緑川河川水位予測システム及び高潮予測システムの検証
- ・重要水防箇所検討
- ・モニタリング分析

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低50社あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を20社が入手（ダウンロード）し、1社から参加表明書が提出され、1社が参加資格を有していた。

参加資格を有する1社を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断され、かつ、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針、評価テーマ「白川・緑川水系における広域避難の検討にあたっての着眼点について」に対する技術提案において、総合的に優れた提案を行ったものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

熊本河川国道事務所 調査第一課長